

## <要旨>

首都直下型地震は 30 年以内に 70~80%の確率で発生すると言われ、私たちが実際にこの災害を直接経験する可能性が高い。そのような状況にも関わらず、日々生活している中で自ら触れようとしなければ災害というテーマに触れる機会は非常に少なく、危機意識・対策率ともに非常に低いように感じる。

実際に私自身、災害について学ぶまで特に何の対策も行なっておらず、知識もなかった。災害大国である日本に住んでいるにも関わらず、災害が身近でないように感じ、危機管理について学んでいく中で、このことに問題意識を感じるようになった。そして、何か被害を減少させる方法はないか考えるようになった。そこで実際、私の身の回り、そして日本国民はこれから起こる首都直下型地震という災害についてどのような感情を抱いているのか、対策はどの程度普及しているのか、また被害を減少させるにはどのような方法があるのか、これらを調査・検討したいと考え今回のテーマとする。